

令和５年度上期募集分「芸術活動振興事業助成金」応募団体の審査結果について

令和５年３月６日および３月１５日にアーツカウンシル部会において厳正な審査を行った結果、下記のとおり決定しました。

<応募総数>

２１５件（一般助成１０４件 特別助成１１１件）

<助成予定件数>

９７件（一般助成６７件 特別助成３０件）

<審査結果一覧>

分野	申請件数	助成予定件数
演 劇	５７	３３
邦 楽	２０	４
邦 舞	２	２
洋 楽	４９	２０
洋 舞	１３	４
古典芸能	２１	１１
大衆芸能	２５	１１
美 術	２６	１１
映 画	２	１
合 計	２１５	９７

<アーツカウンシル部会(芸術活動振興事業に関する審査員※令和５年３月１５日時点)>

宮崎 優也	アーツカウンシル部会長
志村 聖子	相愛大学音楽学部 准教授
塚原 悠也	京都市立芸術大学 彫刻学科講師 アーティストユニット ContactGonzo ディレクター・パフォーマー 京都国際舞台芸術祭 KYOTO EXPERIMENT 共同ディレクター
畑 律江	毎日新聞大阪本社 学芸部専門編集委員
原 久子	大阪電気通信大学総合情報学部 教授
広瀬 依子	追手門学院大学文学部 講師
長川 勝勇	一般社団法人インターナショナルアーティスト支援協会 ファウンダー・常任幹事
松尾 美矢子	フリーランス演芸ライター
山納 洋	common cafe プロデューサー 大阪ガスネットワーク株式会社 事業基盤部 都市魅力研究室長

令和5年度 大阪市芸術活動振興事業助成金 交付決定一覧【特別助成】

分野	No.	申請団体名	事業名
演劇	1	朝日放送テレビ株式会社	中之島春の文化祭2023
演劇	2	工藤俊作プロデュースプロジェクトKUTO-10	工藤俊作プロデュース プロジェクトKUTO-10第23回公演「自慢の親父」(仮)
演劇	3	株式会社OSK日本歌劇団	2024年2月扇町ミュージアムキューブ公演～大阪ラブソディ～
演劇	4	有限会社キューカンバー	MONO第51回公演『あやまれない人』(仮)
演劇	5	ももちの世界	ももちの世界 #9『父の方舟』(仮)
演劇	6	劇団とっても便利	劇団とっても便利 オリジナルミュージカル 『complex』
演劇	7	無名劇団	鶴見橋演劇祭
邦舞	8	有限会社児雷也	新伝統プロジェクト OSAKA現世舞語り
洋楽	9	一般財団法人住友生命福祉文化財団	いずみシンフォニエッタ大阪
洋楽	10	公益財団法人日本センチュリー交響楽団	ハイドンマラソンHM.31～HM.34
洋楽	11	一般社団法人Jazzcalabash	Jazzcalabash
洋楽	12	一般社団法人日本テレマン協会	日本テレマン協会定期演奏会シリーズ テレマンの街ハンブルクから『中之島をウィーンに！』
洋楽	13	公益社団法人大阪フィルハーモニー協会	メンデルスゾーン・チクルス～メンデルスゾーンへの旅
洋楽	14	公益社団法人大阪交響楽団	大阪交響楽団 第264回定期演奏会
洋楽	15	特定非営利活動法人フィルハーモニック・ウインズ大阪	オオサカン吹奏楽公演inいずみ
洋楽	16	株式会社サウンドニュー	アロージャズオーケストラ「Monthly Live 2023」
洋楽	17	公益社団法人大阪市音楽団	「オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ presents 月イチ吹奏楽」
洋舞	18	一般社団法人西岡・福谷バレエ団	一般社団法人西岡・福谷バレエ団主催アトリエ『こんにちは/さようなら』
洋舞	19	公益社団法人日本ストリートダンススタジオ協会	「関西風ミュージカル ダンス漫才」
古典芸能	20	ナニワノヲト	能楽三役共演一ワキと囃子と狂言と一(仮)
古典芸能	21	公益財団法人山本能楽堂	シビウ国際演劇祭30周年記念・欧州文化首都ティミショアラ2023 THE EAST MEETS THE WEST～西洋と東洋の融合 新作能「ファウスト公演」
古典芸能	22	大阪薪能委員会	第67大阪薪能
古典芸能	23	あべの歌舞伎上演実行委員会	第八回 あべの歌舞伎「晴の会(そらのかい)」公演
古典芸能	24	公益財団法人大槻能楽堂	大槻能楽堂自主公演能
大衆芸能	25	公益社団法人浪曲親友協会	一心寺門前浪曲寄席
美術	26	TRA-TRAVEL	「TRA-TRAVEL △企画2023 (トラトラベルデルタ企画)～三者間の創造的国際マッチング～」
美術	27	山中suplex／Yamanaka Suplex	「共同アトリエ・山中suplexによるアートプロジェクト: 山中suplexの別棟「MINE」・ゴーズ・フォー・アートセンター(いちかばちかアートセンターを大阪でやってみる)[仮]」
美術	28	一般社団法人 brk collective	「「NISHINARI YOSHIO」移民との服づくりワークショップ」
美術	29	一般社団法人日本現代美術振興協会	「ART OSAKA 2023」
映画	30	シネアスト・オーガニゼーション大阪	シネマスコーラ特別ワークショップ大阪の橋(大阪の川と橋をめぐる映画) Vol.2

交付決定件数(特別助成)	30件
交付決定額計	92, 305, 000円

令和5年度 大阪市芸術活動振興事業助成金 交付決定一覧【一般助成上期募集分】

分野	No.	申請団体名	分野	No.	申請団体名
演劇	1	株式会社劇団往来	洋楽	35	X Saxophone Ensemble
演劇	2	あゆみ企画	洋楽	36	中塚企画
演劇	3	The Stone Ageヘンドリックス	洋楽	37	グローバル・ピース・コンサート実行委員会
演劇	4	株式会社関西芸術座	洋楽	38	公益財団法人関西フィルハーモニー管弦楽団
演劇	5	スラステslatstick	洋楽	39	四十万勝之
演劇	6	橋田ゆういちろうのカンパニー	洋楽	40	清川宏樹
演劇	7	劇団M's-G	洋楽	41	全国児童・青少年演劇協議会
演劇	8	FUNNY CAMKS	洋楽	42	特定非営利活動法人子どもセンターあさひ
演劇	9	劇団せすん	洋舞	43	スタジオDAN
演劇	10	一般社団法人表現者工房	洋舞	44	インアマッチボックス
演劇	11	特定非営利活動法人発起塾	古典芸能	45	一般社団法人大阪楽所
演劇	12	A級MissingLink	古典芸能	46	上野松颯会定期能楽会
演劇	13	WINGCUP実行委員会	古典芸能	47	井上定期会大阪支部
演劇	14	アートひかり	古典芸能	48	女義太夫の会
演劇	15	オパンポン創造社	古典芸能	49	耕三の会
演劇	16	プロトテアトル	古典芸能	50	大阪能楽大連吟実行委員会
演劇	17	一般社団法人アーツインテグレート	大衆芸能	51	三原麻衣
演劇	18	階	大衆芸能	52	京山幸枝若
演劇	19	株式会社リコモーション	大衆芸能	53	京山幸太
演劇	20	空晴	大衆芸能	54	霜乃会
演劇	21	浪花グランドロマン	大衆芸能	55	桂しん吉
演劇	22	激富	大衆芸能	56	月亭遊方
演劇	23	株式会社キューブ	大衆芸能	57	くらわん花
演劇	24	関西演劇振興会議	大衆芸能	58	桂二葉
演劇	25	譜面絵画	大衆芸能	59	福楽会
演劇	26	遊気舎	大衆芸能	60	桂文之助
邦楽	27	音のまにまに	美術	61	南典弘
邦楽	28	night cruising	美術	62	鈴木敦子
邦楽	29	谷町キッズポップフィルハーモニー楽団	美術	63	佐藤紘子
邦楽	30	Asence Records	美術	64	コタケマン
邦舞	31	扇流	美術	65	DELTA Executive Committee
洋楽	32	NPO法人クラシックファンのためのコンサート	美術	66	高田マル
洋楽	33	STUDIO CC'	美術	67	YMP
洋楽	34	アイアイMUSIC			

交付決定件数(一般助成)	67件
交付決定額計	8, 178, 000円

令和5年度 大阪市芸術文化活動助成（一般上半期・特別）の審査について

2019年初旬より世界的パンデミックを引き起こした新型コロナウイルス感染症であります、2023年5月より感染症法上の位置付けを季節性インフルエンザと同等の5類感染症に位置付けられることになりました。様々な形で文化芸術に関わる方々にとっては、長く苦しい時間であったと思いますが、新たな節目を迎えることになります。その様な令和5年度に向けて本当にたくさんの申請を頂きましたこと、審査員一同心より感謝申し上げます。

2022年度より新体制となりました大阪府市文化振興会議アーツカウンシル部会(以降:大阪アーツカウンシル)は、1年間を通して出来る限り本助成金採択事業の視察やヒアリングをして、改めて大阪の芸術や文化を支える文化芸術関係者の皆さまの熱い想いと活動目の当たりにしました。そして、この審査が如何に重い責任あるものかを審査員一同と共有した上で、審査会に臨ませて頂きました。

令和5年度一般助成枠（上期）では、合計104件(うち新規が48件)の申請があり、うち67件(うち満額は23件、新規は23件)を採択しました。この助成は「市民に質の高い芸術鑑賞機会を提供すること」を目的としており、書類での審査のみとなりました。実際に素晴らしい活動をされていたとしても、審査書類において具体的な事業内容が説明されていないもの、事業の魅力が十分に伝わらないもの、事業内容と収支計画の整合性が無いものは、減点をしました。

特別助成枠では111件の申請があり、昨年度の101件を大きく上回りました。そのうち30件(うち満額は8件、新規は6件)を採択しました。一般助成枠と同様に、事業の具体的な内容、波及効果が期待できる計画性、収支計画の整合性を含める実現可能性が備わっているかを中心に審査しました。また、団体やその活動の規模の大小は審査には影響せず、丁寧な企画内容であり、強い意欲が感じられるもの、そしてより多くの方々に参加してもらえる取り組みを有する事業に対し高く評価しています。

様々な表現分野を一つの基準で審査する難しさが、各分野での事業の性質を留意することを努めました。新しい表現を模索する性質の事業であれば、なぜその表現をしたいのか？なぜそれが社会に対して有益な存在となるのか？また、同じレパートリーを繰り返し極めていく性質の事業であれば、その事業がどのような形でコミュニティーに理解され、求められ、発展していく仕組みを提示できるか、これらにとどまることなく様々な切り口からその事業の魅力と発展性を考えました。それぞれの分野の特徴を考慮し、新しい取り組みから伝統を継承するものまで、幅広い切り口から支援すべき事業を最終的に決定しま

した。

私たち大阪アーツカウンシルでは、この審査の場をただ単に点数を付けて機械的に予算内に採択件数を調整するのではなく、大阪における個人や団体の実態や課題の共有、本助成金事業の審査や制度そのものの検討などの場と捉えています。本審査によって顕在化された各分野の文化芸術関係者の状況、そして制度設計に関する課題などは、引き続き協議を重ねて適切な対応を取れるよう努めます。

今後も大阪アーツカウンシルの活動を通して、大阪における皆さまの活動を心より応援させていただきます。

大阪アーツカウンシル統括責任者
宮崎 優也